

# 精神科急性期閉鎖病棟における SSTの効果と変化

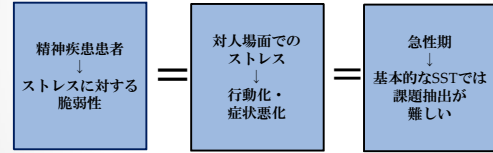
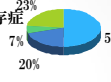
○山北 豊 星野 美栄子



## はじめに

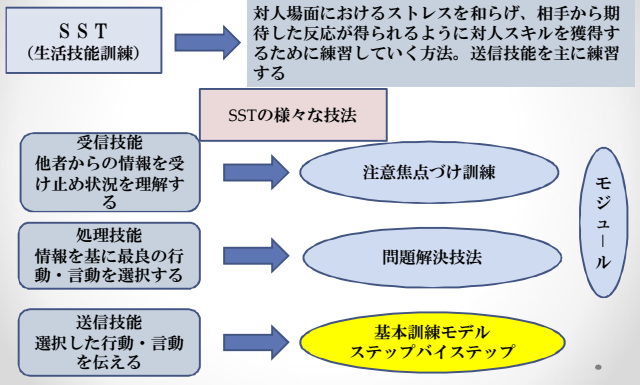
### \*急性期病棟

- ・主疾患⇒統合失調症・気分障害・アルコール依存症
- ・48床(保護室5床、男性17 女性27) 7%
- ・精神科急性期症状⇒陽性症状・強い興奮・混乱

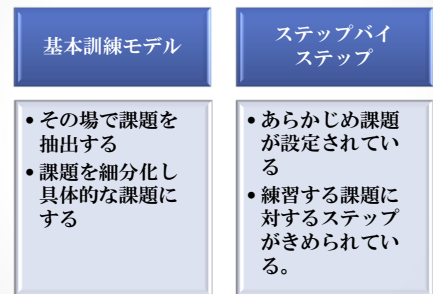


ステップバイステップ方式でのSSTを導入

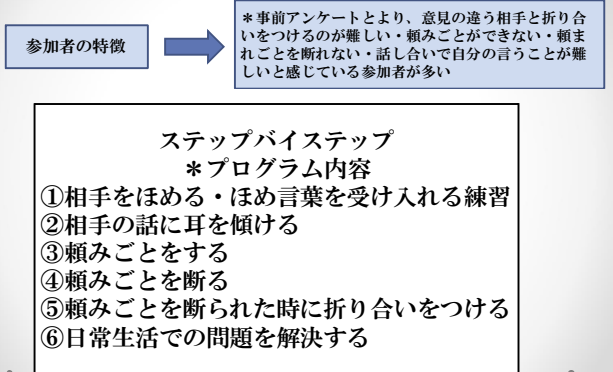
## SSTの概要



## SSTの概要



## SSTの概要



## 方法

- 対象者
  - 急性期病棟に入院した患者を対象とした。参加延べ人数は110名で主な診断は統合失調症や発達障害であった
- アンケート調査
  - プログラム終了後、参加後の自分の変化を評価するアンケート調査を実施した
- 検討方法
  - 開始して2年半が経過、そのうち回答が得られた81名の結果を検討の対象とした。加えて、事例を通してプログラムの有効性について検討した

### 結果

1. 人と接することに自信ついた . . . . . 37名
2. 人と接する時の緊張感が減った . . . . . 43名
3. 話せる人が増えた . . . . . 37名
4. 他者の話を聞くことができるようになった . . . . . 27名
5. 頼みことができるようになった . . . . . 26名
6. 他者をほめることができるようになった . . . . . 26名
7. 会話が続くようになった . . . . . 22名
8. 頼まれごとを上手く断れるようになった . . . . . 17名

### 結果<事例>

Aさん 統合失調症  
 ・自分から話しかけるのが苦手…  
 ・相談するのが苦手…  
 ・自分の気持ちを伝える事が苦手…

【他の参加者】  
 話かけやすくなった!!  
 笑顔で答えてくれるようになった!

プログラムに参加後

声かけでの返答に言葉数が増えたり、自発的ではないが笑顔で会話ができるようになった。

「あまり変わんない」と話してはいるが…

【病棟スタッフ】  
 「言葉増えたね」「言いたい事、わかりやすいよ」という声かけ。

その後の生活に自信が付き退院へ!!

正の強化

### 考察

- 1、急性期病棟において、課題が設定されているステップバイステップ方式は有効な手段である可能性がある
- 2、プログラムに参加することでメンバー間での共感が生まれ、対人関係のスキル向上を図る手助けとなる。

### まとめ

- ・ SSTに継続して参加することで自分自身でも気づかないプラスへの変化がみられ、またメンバー間での交流の場でもあり対人スキルの向上の手助けとなる

(今後の課題)

- \*プログラムで得られた情報を日々の生活にどのように生かしていくか
- \*参加後の継続した関わりをどのようにしていくか